

# ◎大阪のまちづくりと下水道

大阪は、わが国最初の都市である難波宮以来、千数百年に及ぶ都市づくりの歴史を持っています。

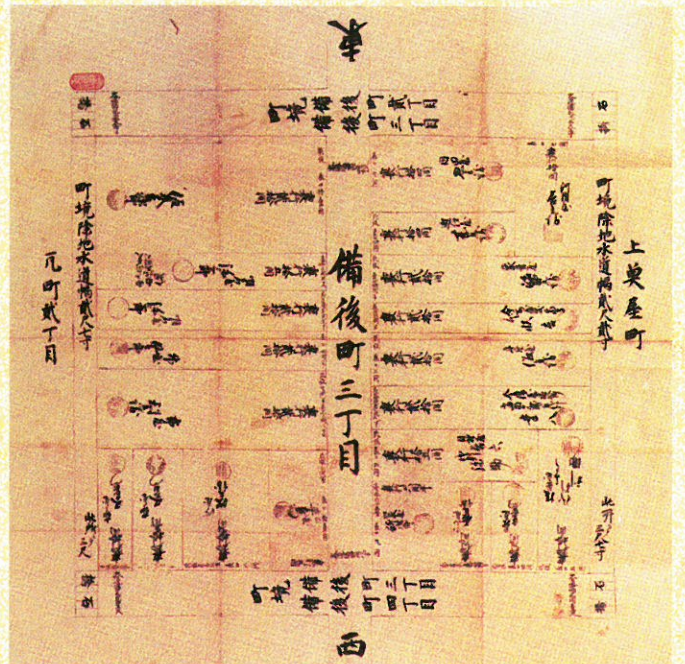
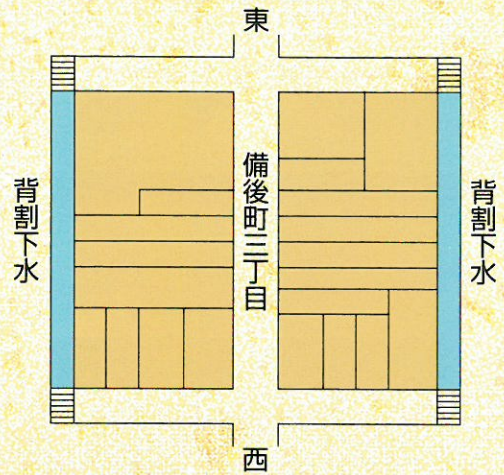
なかでも天正11年(1583年)から始まった豊臣秀吉の大阪城築城に伴うまちづくりでは、内町や船場地区(今の中央区)に現在の大阪の基礎となる町が形成されました。

このまちづくりでは、道路の整備と同時に、町屋から排出される下水を排除するための下水溝が建設されました。

道路と下水道を備えたまちづくりのアイデアは、わが国の都市計画の歴史において画期的なものとして高く評価されています。

大阪の町は、その後も江戸時代を通じて拡張・整備されていきますが、下水道も大阪に欠くことのできない基盤施設として、引き続き建設・改良が行われ、大阪市政が発足した明治22年(1889年)には、市内の下水溝の総延長はおよそ350キロメートルに及んでいました。

■町割と太閤(背割)下水模型図



■大阪市の地盤高図

